

## 第9回 古川西部地区学校統合準備委員会 報告書

開催月日	令和4年12月23日(金) 午後7時～午後8時30分
開催場所	志田地区公民館 ホール
出席者	<p>●古川西部地区学校統合準備委員会 委員 10名</p> <p>【1号委員・学校長】          水谷岳男(志田小学校)          千葉和幸(西古川小学校)          狩野美砂(東大崎小学校)          佐藤有紀(高倉小学校)          笹川清治(古川西中学校)</p> <p>【2号委員・PTA会長 父母教師会会長】          大場美穂子(志田小学校 PTA)欠席          内田貴博(西古川小学校父母教師会)          鈴木修一(東大崎小学校父母教師会)欠席          千坂明裕(高倉小学校 PTA)欠席          本田幸一(古川西中学校父母教師会)</p> <p>【3号委員・地区振興協議会会長】          今野 弥(志田中部)欠席          加藤喜弘(西古川)          千田清憲(東大崎)          高橋靖明(高倉)</p> <p>●事務局 6名          教育長:熊野充利欠席          教育部長:宮川 亨          教育部参事兼教育総務課長兼学校教育環境整備推進室長:小野寺晴紀          教育総務課課長補佐兼学校教育環境整備推進室長補佐:久本 裕          教育総務課学校教育環境整備推進室係長:鈴木 健          教育総務課学校教育環境整備推進室主幹:佐藤 章          教育総務課学校教育環境整備推進室学校教育専門指導員:玉水 透</p>

<p>概 要</p>	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1)学校教育部会開催報告(玉水専門指導員より説明)</p> <p>【説明概要】</p> <p>資料1により前回の準備委員会(8月)以降の部会における協議の経過等について説明。</p> <p>【質疑等】 ○:委員 ⇒:事務局</p> <p>◇内田委員(西古川小)</p> <p>○年間行事予定案の4月10日に「披露式第1学期始業式入学セレモニー」とあるが、新7年生を対象にしたものか。</p> <p>⇒現在の小学1年生から中学2年生は、新校となる古川西小中学校に入学することになることから、新1年生を除く全児童生徒を対象として考えている。</p> <p>○入学式はあくまで新1年生が対象という理解でよいか。</p> <p>⇒そのようにご理解いただきたい。なお、6年生の卒業式もないことから、区切りを大事にするため修了証書のようなものを授与する式を行うことで協議を進めている。また、学びの区分である前期(1年生～4年生)、中期(5年生～7年生)においても同様に考えている。</p> <p>(2)通学部会開催報告(玉水専門指導員より説明)</p> <p>【説明概要】</p> <p>資料2により前回の準備委員会(8月)以降の部会における協議の経過等について説明。スクールバスについては12ルート18停留所として概ね協議が完了した旨報告。</p> <p>【質疑等】</p> <p>・なし</p> <p>(3)校章デザイン(鈴木係長より説明)</p> <p>【説明概要】</p> <p>資料3により校旗及び略旗について説明。受注業者が決定し、当該業者と協議したうえでの完成イメージを提示し説明。</p> <p>【質疑等】 ○:委員 ⇒:事務局</p>
------------	--

◇笹川委員(西中)

○品格があり、予想以上のものになっていると感じた。ただ、学校名を縦に入れていただいているが、横書きにできるのであれば文字を大きくすることができ、より良いのではないか。

⇒一般的にということで縦書きの案としているが、受注業者の進捗状況により変更できる可能性もある。縦、横どちらにするか準備委員会として結論を出していただければと思う。

◆千田委員長(東大崎地区振)

○それでは、皆さんに意見を求めたいと思う。

◇笹川委員(西中)

○もう1点。略旗についても、文字が小さいように思う。縦書きでも横書きでもいいので文字を大きくできないか。

◆千田委員長(東大崎地区振)

○略旗のサイズも文字の大きさに関係すると思われる。事務局に説明をお願いします。

⇒H100cm×W130cm(1枚), H70cm×W100cm(3枚)となる。補足になるが、略旗の文字は校旗に合わせることで考えている。また、校旗の文字(校名)が縦書きになっている理由は、ポールに校旗を取付て掲示した場合に校名が見えやすいように、ポール側に縦書きしているケースが多いと思われる。

◇加藤委員(西古川地区振)

○縦書きでよろしいかと思うが、2行にした方が、文字を大きくでき、より存在感が増すのではないかと思う。

◇高橋委員(高倉地区振)

○縦書きでも2段でも、文字を大きくしていただいた方がなお良いと思う。

◇水谷委員(志田小)

○文字については笹川委員ご指摘のとおりと少し思う。コンピューターで正確にイメージを作られていると思うが、旗の割合に対して少し小さいかなと思う。手縫いなのでお金の面もあるのかなという点と文字が少しポールの位置に近いような気がする。いずれにしても文字は大きい方が良いと思う。

◇千葉委員(西古川小)

○今、スマートフォンで校旗製作会社や他校の事例を見ていたが、縦より横の事例の方が多い。また、縦よりも横の方が見栄えが良い。2列にして文字を大きくするよりも、横にして文字を大きくした方が良いと思う。仮に大崎市の学校が縦書きなのであれば、義務教育学校ということであえて横書きにするもの良いと思う。また、略旗について学校名は必要なのか。運動会で掲揚する旗に校

名は入っていないものの方が多気がする。個人的には横書きで文字を大きくした方が見栄えは良いと思う。

◇狩野委員(東大崎小)

○校旗の横書きの資料がない状況だが、縦書きでよろしいかと思う。文字はもっと大きい方が良いと思う。

◇佐藤委員(高倉小)

○校旗は縦書きでもう少し文字を大きくするということが良いと思う。略旗については横書きで文字を大きくして新しい学校名をアピールするのも良いのではないかと思う。いずれにしても品のあるすばらしい仕上がりになっていると思う。

◇本田委員(西中)

○縦書きが良いと思う。文字は皆さんの意見にあるとおり大きくした方が良いと思う。

◇内田委員(西古川小)

○文字は大きくした方が良いと思う。スマートフォンで画像を検索し、見てみたが横書きでも良いと思う。

◆千田委員長(東大崎地区振)

○委員お一人お一人から意見を頂戴した。縦書きが良いという意見が多かったように思う。文字を大きくという点においては皆さんの意見が一致しているところだが、契約上可能かどうか事務局に確認したい。

⇒校旗については、手刺繍になるので金額に影響する場合は難しいかもしれない。略旗についてはプリントになるため対応は可能と思う。縦・横については、例えば校旗を縦書き、略旗は横書きであったり、校旗も略旗も横書きというのも可能。この会議で決定いただければ、それを最終形として受注業者に指示したいと思う。

○それでは各委員の意見を集約したいと思う。まず校旗については事務局案のとおり縦書きで製作するということが準備委員会として決定したいと思うが皆さんよろしいか。

◇千葉委員(西古川小)

○縦書きの2列にして文字を大きくするという話が出たが、1列で大きくできるのか。

⇒2列だと文字を大きくできるとか、1列だとできないとかそういったことはこの場での回答はできない。可否については受注業者に確認させていただく。校旗は手刺繍での製作となるため、文字を大きくすることで金額が変わる可能性があることから、業者と可能な限り調整させていただきたい。

○そういうことであれば、この場で協議する意味はないのではないか。

⇒今回、この校旗と略旗については協議事項ではなく報告事項とさせていただきます。基本的にはこのままで進めさせていただきたいと考えているが、ご意見があればできる限り対応させていただきますという思いでこの場に至っている。

○ということは、校旗については変更できない、略旗については変更できるということでしょうか。ここを最初にしっかり確認したうえで、話し合わなければならないと思う。

#### ◆千田委員長(東大崎地区振)

○先程、事務局から基本的には報告事項という説明があった。それを踏まえ確認する。文字のサイズについては可能な限り調整を行うこととし、事務局に一任するという事で準備委員会の決定としたいが、皆さんよろしいか。

(委員異議なし)

異議がないようなので、事務局には業者との調整をお願いします。

○同様に略旗についても、事務局に一任したいと思うが、皆さんよろしいか。

#### ◇笹川委員(西中)

○略旗のベースカラー(紺)について、もう少し薄い色の方が、校章が映えるような気がするが調整は可能か。

⇒資料は紙に印刷したものになるが、色自体は「ピース紺」という色になる。略旗も校旗と同じピース紺を指定している。同じ色を指定しても生地の違いで仕上がりに違いが生じる可能性はあるが、見本を提示できる状況にはないことをご理解いただきたい。

○話をしてみるとということが可能であればお願いしたい。紺と緑で校章が埋没してしまうような気がする。

#### ◆千田委員長(東大崎地区振)

○校旗と略旗、指定する色は同じだが、生地の違いにより、限りなく近い色になるということだが、皆さんよろしいか。

#### ◇千葉委員(西古川小)

○確認だが、既に発注済みなのか。

⇒色などを相談するには契約が前提となることから、入札を行い、契約を締結している。

○製作には入っているということか。

⇒デザインが決定してから製作に入る。今はデザインを調整している段階であり、製作には入っていない。

○校旗の資料が9月21日の日付になっていたため、3ヵ月も保留にしていたのかと疑問に思ったため確認した。

⇒所定の入札手続きに相応の時間を要したということをご理解いただきたい。

◆千田委員長(東大崎地区振)

○事務局より入札手続きに時間を要したとの答弁があった。そのよう  
にご理解いただきたい。校旗については、先程、意見を集約し  
たが、改めて縦文字を1行で出来る限り大きくすることで進める  
ということで確認する。また、略旗についても同様とすることで  
結論としたいが、皆さんよろしいか。

(委員異議なし)

異議がないようなので決定とする。

4 協議事項(○:委員, ⇒:事務局)

(1)古川西小中学校校歌(案)について(鈴木係長より説明)

【説明概要】

資料4により、歌詞及び作曲並びに製作者の意図等について説明し、  
併せてデモ音源を確認いただいた。

【質疑等】

・質疑なし

【協議状況】 ○:委員 ⇒:事務局

◆千田委員長(東大崎地区振)

○それでは協議に入る。事務局の説明にもあったが、作詞を千葉淳  
さん、作曲を大場陽子さんに依頼することで決定し、当準備委員  
会で条件を付したが、それに合うような形で作詞作曲していただ  
くのではないかと感じている。デモ音源も確認したところで、委員  
皆さんも古川西小中学校のイメージが持てたのではないかと考え  
ている。実際に歌詞を見て、曲を聴いて感じたところをお話いた  
だきたいと思う。

◇狩野委員(東大崎小)

○本当に素敵に作っていただいたと思う。作詞にしても作曲にし  
ても、子どもたちから応募された単語を使ったり、作曲で各校の校  
歌のメロディーを取り入れていただいたり、大変な作業だったこと  
と思う。基本的にこの案でよろしいかと思う。歌いやすくするた  
めにはここはもっと低い方が良いのではとか、もう少しテンポが  
速い方がなど、少し思うところはあるが、それは直接お話するよ  
うな場がないと難しいことなので、基本的にはこの案で良いと思  
う。

◆千田委員長(東大崎地区振)

○委員長としての感想を少しお話をさせていただくと、歌いやす  
そうだなというのが第一印象。スッと入ってくるような感じで聴  
いていた。新しい学校ということで子どもたちが歌いやすく、覚え  
やすいというのも重要な要素ではないかなと思った。各校のワード  
とメロディーを入れていただいたので、卒業生の皆様にとっても、こ

の校歌を聴いて、かつての校歌を思い起こすことができるという意味で良いのではないかと思う。

◇本田委員(西中)

○テンポが気になるが、歌としては良いと思う。

◇笹川委員(西中)

○古川西小中学校という部分を見ないでこの歌詞を見たときに、どこの学校なのか想像すると、小野田あたりの新しい中学校の校歌かなという感じがしてしまう。古川西小中学校は大崎耕土のど真ん中だと生徒にも職員にも話している。何が言いたいかという、「大崎耕土」、伸ばすか縮めるかはプロにお任せするにして、ハッキリこの4文字をどこかに入れていただきたいと考えている。「大崎耕土とともに生きる」ということで総合的な学習も、農業や地域の伝統など、そういったものを見学の一つの柱にすることでまとまっている。大崎耕土は10年や20年ではなくならないと思う。本校の校歌を改めて見てみると、「栗駒も遠く船形も遠い空だ」という、取ってつけたような校歌のようなので、もしかしたら、この「栗駒」あたりをとって「大崎耕土は穏やかに」など3番あたりに、「私たちは大崎耕土で学んだ、旅立っていくんだ」という思いを込めてはいかがかなと思う。ぜひ「大崎耕土」の4文字をどこかに位置づけていただきたい。

◆千田委員長(東大崎地区振)

○只今、笹川委員より「大崎耕土」を入れてほしいという意見があった。具体的には3番の「栗駒」を削除し、そこに「大崎耕土」を入れてはどうかというもの。これについて、委員皆さんからご意見をいただきたい。

⇒補足になるが、作詞作曲を依頼する際に、「応募いただいた言葉と各小中学校の歌詞を入れる」ことを条件として設定し、あとはお任せするというようお願いしている。これだけは必ず使ってほしいという言葉についての条件は準備委員会で示されていなかった。この段階で大崎耕土を必ず入れるということは、当初の約束と異なるため、個人的には相手方に失礼と考える。本来であれば依頼する時に提示しておくべき条件だったと思われる。

◇笹川委員(西中)

○今の事務局の説明について、立場が違えばそういう考えもあると理解できるが、誰の校歌を作っているのか、大崎市がどこへ向かう学校を創ろうとしているのか、この校歌にどういうことを込めていくのか、お金を払って作っている訳ですから、もう1回くらい、先程の校旗の修正ではないが、プロですから、1万や2万のお遊びではないですから、何十年と歌い継がれるものですから、今言った一個人の話ではなくて、仮にこの場で必要ないとなれば先程と同じように消えてもよいが、この場できちんと皆さんの意見を聴いて、賛同があれば対応いただきたい。どこの学校、何市教育委員会が作ろうとしているのか、メッセージ性が問われると

考える。

#### ◇佐藤委員(高倉小)

○古川西小中学校の教育課程を各校長皆で考える中で、大崎耕土というものを柱にしようという思いが徐々に高まってきたというところは否めない。今になって大崎耕土を入れてもらいたいという思いの背景がわかってしまうので、一概に否定はできないが、係長のお話にあったように、最初の条件というのがここで散々吟味をして、お願いしているものであるということを考えれば、作者の方も苦労されたと思う。とても上手に作っていただいたと思っている。それを改めてご検討いただけないかと尋ねることを躊躇される気持ちは良くわかる。曖昧な回答になってしまうがそう思う。一つ言えることは、一番最後に高倉小のフレーズが出たとき、非常に胸に迫るものがあり、本当にありがたい歌を作っていただいと作者のお二方には感謝している。

#### ◇内田委員(西古川小)

○5校の校歌の歌詞と応募のあった言葉が入っていて良いと思った。また、今の西中から葉徠も見えるし、船形も見えるし、栗駒も見えるということで、逆を言えば全て見える場所なのかなと思った。個人的にはOBとして「我ら新鮮」が入っているのがうれしかった。

#### ◇水谷委員(志田小)

○とても綺麗な曲と感じた。狩野委員や本田委員の意見にあったテンポも言われてみるとそうだなと思う部分もあった。笹川委員の意見にあった大崎耕土もなるほどと思った。その理由は佐藤委員の発言のとおり。校長会の中で、総合的な学習の時間を担当させていただいているが、そこで大崎耕土をメインにしている。そして、伝統芸能もきちんと継承しようと考えている。そういった今やろうとしていることに変化がある。6月や7月といった教育課程がほぼ定まっていない中で、校章であったり何かを決めていこうということだったので、今になるといろいろなことを感じる。意見にはならないので所存ということで申し上げた。

#### ◇高橋委員(高倉地区振)

○先程の事務局の説明では修正は不可能のような話だった。その状況ではここでいくら議論しても進まないのではないかと読み取っていた。強いて言わせてもらえば曲もそうだが、歌詞について、先程から話が出ているように大崎が根ざしているもの、「大崎耕土」をどこかに入れていただくとありがたいと思う。そういう議論をしている中で、事務局よりもうこれ以上はという話で、録音も1月6日頃に行うような話もあり、既にどんどん進んでいるのでこれ以上は難しいと感じていた。意見としてお話すれば、山ばかりではなく大崎耕土というものをどこかに入れていただければ、将来にわたり続いていく校歌になると思う。

#### ◇狩野委員(東大崎小)

○もしチャンスがあれば、作詞の千葉さんとお話しする機会があれば、例えばだが、1番に大崎耕土をもってきて「大崎の耕土のもなか 大きな夢を心に描け」としてみてもどうか。「耕土のもなか」は古川第一小学校の校歌にあるフレーズなので考える必要はあるが。そして、3番の「栗駒は穏やかに」を1番の「薬徠を仰ぎ見て」に代えても、その後の「平和を願う」につながると思う。

#### ◇佐藤委員(高倉小)

○同様の意見になるが、大崎耕土を入れるとすれば、交渉するとすれば、1番の2フレーズ目の「大きな虹を心に描け」を「大崎耕土この地に生きる」とすればその他の修正もなく済むのではないかと思う。交渉の余地があればの話だが。

#### ◆千田委員長(東大崎地区振)

○今、それぞれの委員から想いや意見をいただいた。その中で出た修正案も含め、当委員会としてまとめたいと思うが、皆さんよろしいか。

(委員異議なし)

事務局には、狩野委員、佐藤委員の案を作詞の千葉さんとお会いして調整をお願いしたいが可能か。作曲については変えることなくという趣旨の変更案だったと思う。

⇒お会いしての交渉というのは難しいため、電話かメールでという形になる。また作曲の大場さんとの調整も必要になる。大場さんには録音等のいろいろな手配を既にさせていただいており、場合によっては日程がずれ込む。そのため、最終音源を各委員にお届けするのが遅れる場合があるということをご了承いただきたい。いずれにしても現時点でできる、できないということはお話しできないので、まずは打診をさせていただきたいと思う。今後については、時間もないため、再度準備委員会で協議という形ではなく、結果報告という形になることをご了承いただきたい。

○笹川委員から歌詞修正の意見があり、その具体的な案として狩野委員、佐藤委員から意見があった。その意図を作詞作曲者に伝え、可能な限り修正方向で進めてほしいということで事務局をお願いしたい。場合によっては最終音源が予定より遅くなるということも含め、皆さんにご承認いただけるかどうかご意見を求めたいと思う。

#### ◇千葉委員(西古川小)

○校歌は開校の時に必ずなければならないのか。事務局の焦りを感じる。変更になったものは報告で終わり、協議する場もない。聴くこともできないというのは、この準備委員会の意味がないのではないのか。申し訳ないが、今日の報告事項もそうだが、協議事項の校歌にしても協議にならないのではないのか。最初にあのような説明をされては。進め方が乱暴ではないか。今日の会議の設定から乱暴と思う。8日前に案内が来ての今日。全てにお

いて乱暴だと思う。それは3月31日までというのを考えているからだと思うが、校歌は4月1日にできていなければならないのか。

⇒校歌の制作について、当初見込んでいたスケジュールがあったが、諸事情により歌詞の仕上がりが遅れた。それに伴い作曲の大場さんへの歌詞の送付も遅れ今に至っている。そのような中、大場さんには当初のスケジュールを念頭にスタジオや演奏者、歌手など必要な手配を進めていただいていた。もともと開校時に子どもたちみんなで校歌を歌えたらいいねということでスケジュールを組んでいた。それが諸事情で遅れ、メール等で催促した部分もあったが、ようやく仕上がり、急遽ではあったがご案内させていただいたところ。急なお願いであり大変申し訳なかったと思っている。校章や校旗については、最終的に細部については業者と協議して仕上げるという状況だった。校旗にしても、校歌にしても、基本的に多くの選択肢の中からこの会議で方法等を決め、その決定に基づき仕上がってきたものになる。こういった状況もあり正直、事務局としては大きな変更がなければという思いはある。仮に千葉委員の意見のように4月1日に校歌ができあがってなくてもよいということでこの会議で決定がなされれば、そのように対応させていただきたいと考えている。スケジュールがずれ込み、年度をまたぐとなると、予算措置のない中で手配済みのもののキャンセル料等が発生することが予測され、その対応も考えなければならないという思いもあり、急なお願い等皆様にご迷惑をおかけした。いずれにしても皆さんの総意に基づいて依頼や製作を進めてきたというところをご理解いただきたい。

#### ◆千田委員長(東大崎地区振)

○今、事務局から過去の経緯を振り返りながらの説明があった。校歌については4月に子どもたちが歌えるように、そしてそのために練習期間も必要になることから早めに仕上げるというところは皆さんも記憶していることと思う。そういったことを踏まえると校歌はできているということのを第1に考えたいと思う。修正についても具体的な案が出た。よってこれらを作詞作曲家に伝え、承認いただくよう最大限の努力をし、その対応を事務局に一任するというところで準備委員会の決定としたい。ただ、先程、狩野委員からお話があったように、電話でのやり取りが可能なのであれば、その機会を持つように委員長として事務局にお願いする。

#### ◇内田委員(西古川小)

○そもそも修正があるかもしれないということは作詞作曲者に伝えてあるのか。

⇒依頼する際に、案が出来上がった後、会議に諮るので、その際に修正が必要になる場合があるということで伝えてある。ただ、スケジュール的なところで遅れがあり、後ろが詰まっていたが、録音関係は当初のスケジュールで手配していたという状況になる。当初は修正期間をとれるように12月上旬に準備委員会を

開催することで考えていたが、諸事情による遅れによりそれが難しくなった。今回修正の要望することで決定いただいた。これに基づき作詞者に打診させていただく。ただ、今後の流れをイメージすると、歌詞を修正し、大場さんにサブ音源を作成いただき、会議で確認となると最短でも1月末から2月上旬、その後最終録音と考えられる。仮に歌詞の入れ替えだけで済めば今の録音スケジュールで対応できる可能性もある。仮に開校に間に合わなくてもよいということで決定されれば、それに合わせたスケジュールにしていくことで考えている。事務局としては期間で完成させたいという思いがあって、提示した条件を満たしたものが出来上がったので今回お示した案でいかがかなと思うが、事務局として皆さんの協議の結果をしっかりとお伝えし、対応していきたいと考えている。

#### ◇笹川委員(西中)

○いささか腑に落ちない点がある。それは遅れたというところ。その原因は何なのか説明いただきたい。契約しているのであれば遅れは相手方の責任であり、修正も含め期限を守ってもらうだけで、時期を遅らせる必要はないと考える。ただ、こちらのミスで提案が遅れたのであれば仕方ないが。ここはハッキリさせたい。

⇒作詞については期間前に出来上がっていたが、ある一部の方からこれだけは必ず入れてほしいという要望があった。それを可能であればということで作詞者にお伝えした。その要望を叶えるために、出来上がった案を一度すべてバラして作り直した経緯があり、それが歌詞の完成が遅れた原因になる。決して作詞者の問題で遅れたわけではないことをご理解いただきたい。

○それは私が要望した「我ら新鮮」かもしれないが、前回会議の翌日に連絡していたはず。1ヵ月もたってから連絡したわけではない。各校のフレーズなりメロディなりが入るといいのではないかと、そして西中では「我ら新鮮」を何をおいても入れてほしいと要望した。それは西中が昭和50年に開校した時の校歌作詞者がメインとしたフレーズであり、50年間歌い継がれているフレーズだからだ。これが遅れる原因になるとは考えられない。

#### 《状況整理》

7月中旬に作詞を依頼。完成予定は9月末。上記の要望が出されたのが8月26日。作詞者に確認したところ、この時点で歌詞については9割方完成していた。この要望を断ることもできたが、校歌制作に携わる者として、想いに応えるため、新たに歌詞を組みなおした。この事実については下記の委員長の判断に従い、会議の場において発言を控えた。

#### ◆千田委員長(東大崎地区振)

○笹川委員の遅れた原因についての質問に対し、事務局から説明があり、笹川委員から経緯に関する話があったが、この部分については深く追求しても解決するという事にはならないと判断する。よって準備委員会としては早い段階で校歌をまとめるよう取り組まなければならないと考える。従って今日のこれまでの意見

等を集約すると、先程言ったように「大崎耕土」を取り入れるように事務局に対応をお願いする。そして、改めて4月1日に校歌が完成していることの必要性について最終的な判断をするために、ご意見を求める。

#### ◇佐藤委員(高倉小)

○4月1日に校歌はあった方が良く考える。そこまでに一緒になったらみんなでこれを歌うんだということで練習をしてきて、それをみんなで歌えたら、スタートは非常に一体感のあるものになると思う。このイメージは大事にしたいと思う。先程の話の聞く中で、ここのワンフレーズを変えることを相談し、作品なのでそれは難しいということであれば、また考えなければならないが、大崎耕土を入れたいということや千葉さんや大場さんが嫌だということにはならないと思う。古川西小中学校の大崎耕土を学習の柱にしたいという校長5名の思いがあるということの説明したうえで、当初の条件になく申し訳ないけれども願わくばこの言葉を入れたいんだという形で交渉いただいて、それで入れていただければ、1月6日に録音していただいて良いと思う。そこでサブ音源を作って、また皆で聴いてということがなくても、それさえお願いできればお任せするということが良いと思う。

#### ◇千葉委員(西古川小)

○4月1日には出来ていた方が良く思う。2月下旬には学校に音源が来ていた方が絶対に良く思う。それは前提として当然のことと思う。ただ、大崎耕土の問題で、却下されて入らない状態で音源が来たら、それは納得できないという思いはある。事務局の方で大崎耕土が入られるというのであれば、1月6日に録音しても良く思う。問題は1月6日にスタジオを確保したのために、スケジュールが詰まっているのであって、それが2月の初旬であれば、2月下旬の納品に間に合うのではないかと。そうするとキャンセル料等お金の問題が出てくるので、一番手っ取り早いのは、事務局が大崎耕土を入れてもらうことで作詞者に納得いただいて1月6日に録音できれば何の問題も生じない。それであれば事務局に一任できる。そうならないときは問題だと思う。

#### ◇内田委員(西古川小)

○作詞の方も作曲の方もプロなので、急な修正ということにも対応できるのではないかと。条件のとおり作ったので変更はできないというような方たちではないと思う。まず事務局には打診していただいて、4月に子どもたちみんなが歌えるようになればいいと思う。

#### ◇本田委員(西中)

○協議ということなので、そこは議論していただいて、結果報告をいただければそれで良いと思う。

### ◆千田委員長(東大崎地区振)

○時期については4月1日までにとということが皆さんの総意ということで判断したいと思う。「大崎耕土」については各校の5人の校長の強い思いがあるということで、また子どもたちもその思いを持っているということで、事務局にはご理解いただいて、可能な限り修正に向け、作詞作曲者のご理解を得られるよう対応していただく。これを本日準備委員会の総意とし、事務局に一任することも含めてまとめてよろしいか。

(委員異議なし)

最後に委員長として一言述べさせていただければ、作詞者、作曲者ともに大崎地域の方ということで、大崎耕土という言葉に強い思いをもっておられるのではないかと思う。非常に安易かもしれないが、もしかすると歓迎される変更となるかもしれない。改めて事務局に対応をお願いしたいと思う。

## 5 その他

### 【事務局より】

- ・校歌が決定すると準備委員会の協議事項は全て完了となる。
- ・部会については、総務部会と通学部会が協議を終了しており、学校教育部会が継続している。
- ・次回の準備委員会は学校教育部会の報告となる。
- ・校舎も完成に近づいてきた。3月上旬には引渡しの見込みとなっている。可能であれば日中になるが、委員皆様に見学いただく機会を設けたいと考えている。

## 6 閉会